

# 核兵器のない公正な世界の実現を！

## 東京原水協署名推進ニュース No.3

2019年6月21日 発行  
原水爆禁止東京協議会  
TEL 03-5395-4222  
Fax 03-5395-4220  
Mail:Tokyo-gensuikyoku@aurora.  
ocn.ne.jp

### 原水爆禁止2019世界大会に若者の参加を呼びかけ

### 次の世代にバトンを渡せるよう頑張りましょう！

**日本と韓国の国際フォーラムに参加  
非核の朝鮮半島めざして両国の反核平和運動が交流  
を深める**  
代表理事 石村和弘

5月30-31日、ソウルで韓国の女性と反核平和の10団体が受け入れを準備し、フォーラムが開催され日本からは、新婦人、民医連、被団協、原水協及び総がかり実行委員会（全労連）の72名が参加しました。（東京原水協から2名の参加）韓国側は女性が司会及び代表の確信に満ちた挨拶が印象に残りました。韓国女性団体連合の常任代表は、「朝鮮半島は昨年4・27板門店宣言を皮切りに、南北を遮っていた巨大な壁が解け落ちていきます。朝鮮半島の平和への旅程が東北アジアの平和に向けた道につながるような韓日市民社会の固い連帯との努力が必要な時期です。またジェンダー平等な平和を創造するため、そして被爆者たちの癒しや経験を私たちの知恵と羅針盤にするために、フォーラムが有意義な討論の場となることを期待しています」と挨拶しました。韓国原爆被害者協会会長は、「原爆が落ちた時、韓国人の国籍は日本でした。痛み苦しんでいる被爆者の身として治療を受けようとする時、『お前は朝鮮人だろう』、『お前は後で来い』と言われる、韓国人被爆者は長い間、日本の被爆者とは別の差別を耐えなければなりません。被爆75年・2020年8月には、全世界の被爆者が集まり2020年世界被爆者被害者大会及び国際模擬法廷を推進する計画です」と決意のこもった挨拶を述べました。更に全国民主労働組合総連盟副委員長は、「米朝が合意した韓半島の平和体制を構築するためには、北朝鮮の核兵器の廃棄だけでなく、米国の核の傘政策の廃棄も含まれています。中国を狙って配置した韓国のサード（高高度迎撃ミサイルシステム）は直ちに撤去しなければなりません。韓国の労働運動は政府の労働政策の後退（最賃制の約束の反故にする）と労働法の改悪を阻止するために再び闘争を準備しています」とたかひの決意を述べました。その他、多くの反核平和団体の代表が力を込めて、日本の反核平和運動が安倍政権を打倒する運動の成功への期待を述べていました。日本の原水爆禁止運動が韓国の人々の期待に応じて前進することが大切だと強く思った交流会参加でした。

ヒバクシャ国際署名世田谷連絡会は、5月26日、烏山北住宅に事前にポスティングしたヒバクシャ国際署名と3000万署名の回収行動を15人でおこないました。この2つの団地は4階～5階建てのエレベーターのない団地。日差しの強い中を上がったり下がったりの汗をかきながらの行動でした。戸口に署名用紙を入れた封筒を張り出してあるお宅もありました。「2、3日前にポストに入れさせていただきましたが・・・」の訴えに、戸を開き対話になるケースもありました。2時間の行動でヒバクシャ国際署名76人分、3000万署名64人分、募金6400円が寄せられました。上記の他に10人分の署名が郵送されてきました。



#### 平和行進ニュース

韓国の大学生2年生アン・スルギさんが茨城から参加予定。

（東京の行進が終わった次の日に佐賀へ、佐賀と長崎の行進後は世界大会に参加予定）ご本人からのメッセージが届いていますので紹介します。

「私は現在、大学でスポーツ経営学を勉強しており、主専攻はダンスです。学校で行事がある時にk-POP公演をしたり、趣味で韓国舞踊を学んだりしました。機会があれば、皆さんの前で披露することができればと思います。私を三つの言葉で表現してみると、笑い、たくましさ、暖かい心です。反戦・反核について皆さんの考えと感情を共有できる事を望みながら参加したいと思っています。」